



図書館から学校におすすめする あたらしい本

令和2年11月
出版分(14冊)

◆◆◆ えほん ◆◆◆

小学2年生～

『ライオンとタカとアリになった男の子 ノルウェーのむかしばなし 』

菱木 晃子／文 BL 出版 1600 円 ISBN 978-4-7764-0926-7

父親を亡くした男の子がライオンとタカとアリの手助けをしたことにより、ライオンにもタカにもアリにも変身できる不思議な力を身につける。ある時男の子はタカに変身し、湖の岸の城に降り立つとそこには美しいお姫様が住んでいたが、トロルに狙われて日々怯えて暮らしていた。男の子はトロルを倒すために立ち上がる。美しい絵が魅力的な絵本。

◆◆◆ フィクション ◆◆◆

小学1年生～

『あらいぐまのせんたくもの』

大久保 雨咲／作 童心社 1100 円 ISBN 978-4-494-02064-5

ある日、コインランドリーにはじめて行ったおばあさんは、あらいぐまの子どもに出会う。あらいぐまは「かなシミというシミのついたハンカチも洗って!」とおばあさんに頼んだ。洗い物をしながら、あらいぐまはキツネとケンカしたことなどを話す。おばあさんのアドバイスであらいぐまの心も晴れ、ハンカチも綺麗になる。心がほっとする話。

小学2年生～

『ハンカチともだち』

なかがわ ちひろ／作 アリス館 1400 円 ISBN 978-4-7520-0904-7

はるちゃんは不思議なハンカチを持っている。動く小人が住んでいて、はるちゃんの気持ちを分かってくれる。ひとりぼっちになった時もなぐさめてくれた。ハンカチが縁で、友達を作ることにも出来た。揺れ動く子どもの気持ちが丁寧に描かれている。淡い色彩の挿し絵も魅力的。優しい気持ちになれる物語。

小学5年生～

『となりのアブダラくん』

黒川 裕子／作 講談社 1400 円 ISBN 978-4-06-517574-3

小学6年生の晴夜^{はるや}のクラスに転校生が来た。パキスタンから来た少年は「アブダラくん」と自己紹介する。見た目も生活習慣も異なる転校生に周りは戸惑う。お世話係に指名された晴夜は、マイペースな転校生にいらだちながらも、次第に心を寄せていく。異なるものを排除しようとする大人たちに対し、「知る」ことから始めようとする子どもたちの姿が良い。異文化理解にもつながる作品。

『夏休みに、ぼくが図書館で見つけたもの』

濱野 京子／作 あかね書房 1200 円 ISBN 978-4-251-04437-2

主人公の達輝^{たつき}は小学五年生。学校では目立つタイプではないが、本好きで町の図書館では一目置かれる存在。ある日同じクラスの彩友^{あゆ}から、書名も作者もわからない本探しの依頼を受け、探し始める。そんな中、達輝は図書館で同級生のサッカー少年令央^{れいお}を見かけ本をすすめるが、令央にはある事情があった。図書館を舞台に本が人と人をつなぐ物語。

『ほんとうの願いがかなうとき』

バーバラ・オコーナー／著 偕成社 1600 円 ISBN 978-4-03-726970-8

主人公のチャーリーは9歳。田舎町に住むおばさん夫婦に引き取られた。父は拘置所に入り、母は精神病を患っているため、子どもを育てることが出来ない。18歳の姉は友だちの家にいるのに、何故自分だけが田舎に来てしまったのかと、チャーリーは落ち込む。そして、幸運のしるしを見つけては願い事をしていた。そんな彼女が自分にとって本当に大切な場所や人の存在を知っていく話。心温まる作品。

『5000 キロ逃げてきたアーメット』

オンジャリ Q.ラウフ／作 学研プラス 1500 円 ISBN 978-4-05-204932-3

アレクサは9才の女の子。彼女のクラスにアーメットが転校してきた。彼は誰とも喋らず、笑うことも遊ぶこともしない。アーメットがはるばるイギリスまで転校してきたのにはある大きな理由があった。難民のことを身近に感じることのできる物語。

小学6年生～

『引っ越しなんてしたくない! バンダビーカー家は五人きょうだい』

カリナ・ヤン・グレーザー／作・絵 徳間書店 1700円 ISBN 978-4-19-864983-8

ニューヨークのブラウンストーンと呼ばれる古くからある建物にバンダビーカー家は住んでいる。ところが、クリスマスまであと五日という時に最上階に住む大家さんに部屋の契約の更新をしないとわれ、突然出て行かなくてはならなくなった。バンダビーカー家の子ども達5人はなんとか大家さんに契約を更新してもらえるように計画を練ることにした。5人の奮闘ぶりがユーモラスな物語。

『希望の図書館』

リサ・クライン・ランサム／作 ポプラ社 1500円 ISBN 978-4-591-16419-8

1940年代のアメリカが舞台。ラングストンは父と2人、故郷のアラバマからシカゴにやってきた。母を亡くした悲しみや貧しい暮らし、学校でのいじめに苦しむラングストンは、偶然見つけたシカゴ図書館で自分と同じ名前の詩人の本を見つける。図書館や本が彼の心の支えとなり、周りとの関係も改善していった。少年の思いが丁寧に描かれている作品。

中学生～

『星くずクライミング』

桧崎 茜／作 くもん出版 1300円 ISBN 978-4-7743-3027-3

小学4年生でスポーツクライミングに出会い練習に励んできた中学1年生のあかりだが、スランプになり辞めようとする。そんな時に目の不自由な人のためのクライミング、パラクライミングを知った。ナビゲーター役として体験イベントに参加したあかりは、同い年の昴とペアを組むようになる。パラスポーツに理解が深まる物語。

『この海を越えれば、わたしは』

ローレン・ウォーク／作 さ・え・ら書房 1800円 ISBN 978-4-378-01527-9

主人公は産まれてすぐに海に流された女の子。赤ん坊だった彼女を助け、クロウと名付けたのは島に住む画家のオッシュだった。ミス・マギー以外の島民は、クロウに触れようともしない。なぜなら彼女がかつてハンセン病患者の療養所があった島から流されたと思っているからだ。12歳になったクロウは自分の出生について知ろうと行動を起こす。ミステリアスな展開と巧みな文章が魅力的。読み応えがある作品。

小学1年生～

『ふゆとみずのまほうこおり』

片平 孝／写真・文 ポプラ社 1500 円 ISBN 978-4-591-16409-9

冬の寒さによって水は様々な形の氷に変化する。その変化の様子を子どもに分かりやすい言葉と美しい写真で紹介している。巻末には氷が見せる多様な姿・形と不思議な性質について、各ページの解説あり。

小学3年生～

『伝統工芸の名人に会いに行く 1 やきもの おんた焼き 大分県日田市』

瀬戸山 玄／文と写真 岩崎書店 2800 円 ISBN 978-4-265-08721-1

シリーズ名の通り、名人（職人さん）に焦点を当てた作りになっている。5年生の伝統工芸の単元に対応できる。写真絵本のように工芸品作成を物語風に紹介している。写真も綺麗で見ごたえがある。

小学4年生～

『ノーベル賞とアルフレッド・ノーベル』

こどもくらぶ／編 岩崎書店 3600 円 ISBN 978-4-265-08638-2

ノーベル賞とアルフレッド・ノーベルについてよく分かる1冊。前半はノーベルの伝記絵本調、後半はノーベル賞についての解説。日本の受賞者が多めに掲載されており、写真も大きく分かりやすい。